京都市農委だより 第28号

農作業体験で農業の魅力を子供たちに！

伏見区向島地域では，小学生を対象に農業の魅力や地域の文化に触れる機会づくりとして，米づくりの作業体験に取り組んでいます。

この取組は，農家の指導のもとで地元の小学生が，春の田植え，秋の稲刈り，更には自分達で収穫した新米の「にぎりめしの試食」や，お正月用の「しめ縄，わら細工づくり」など，まさに米づくりのフルコースを体験するもの。

中でも，「わら細工づくり」では，農家が器用に縄を結う様を真剣に見つめ，ぎこちない手つきで，目を輝かせながら，わら細工作業に熱中する姿がとても印象的でした。

「安価なモノ」が流通し，「使い捨て」が日常化する中，米づくりの体験を通して「自分で一生懸命作ったモノ」への愛着や達成感，更には農業の魅力を感じ取ってくれたことでしょう。

今後も，農業を通じて，文化や食の大切さを子供達に伝える取組が，益々活発になることを期待いたします。

藤田編集委員

お火焚き祭

新米で作ったおこしとお神酒とみかんを焚いて，穢れを祓い，家内安全，無病息災，商売繁盛，火難除けを祈願！

古来，神の使いである「鷺」が群集していたことから名づけられた鷺森神社。平安時代に創建された由緒ある神社で，平成25年12月5日，お火焚祭が行われました。

祭りの当日は，地域の農家が生産した野菜が早朝から献納され，これらの野菜は，神事が終わった後に参拝者に即売されます。

見事に彩られた紅葉に包まれる中，お火焚の神事が厳かに行われ，引き続き神楽殿では，神楽（鈴舞），湯立神楽が行なわれました。

in 鷺森神社（さぎのもり）（左京区修学院）

湯立神楽

神楽（鈴舞）

農家からは野菜が献納

お問合せ

■ 鷺森神社:京都市左京区
■ 電話：**075−781−6391**

頑張っている農業者

守り続ける「和」の食材

西村正昭（にしむらまさあき）さん（伏見区竹田）

左から 千穂さん　道子さん　美彦さん　正昭さん　小山農業委員

伏見区竹田地域で約 40 年前から「くわい」を栽培されている西村正昭さん。

現在は，約 13ａの水田で，奥様の道子さん，長男夫婦とともに栽培されており，収穫や出荷作業がピークを向える 11 月中旬から 12 月上旬は，母親や次男，三男も加わり，まさに一家総出で作業に追われるそうです。

「くわい」は，日本の正月料理に欠かせない食材。

昭和の初期には，埼玉県に次いで京都府は第２の生産地であったと言われており，市内でも各所でくわい畑を見かけたものです。

現在，栽培農家は激減していますが，西村さんは，「農業の機械化が進む中，くわい栽培は，未だに大半が手作業やからねぇ。栽培農家が減っても，家族で力を合わせて頑張り続けたいよ。」と力強く語ってくれました。

平成 25 年 12 月４日にユネスコの無形文化遺産に「和食」が認定される中，「和食」「京都の文化」を支える伝統的な京都の野菜が，次世代へと引き継がれていくよう，西村さん御一家の益々の御活躍を期待いたします。

長男夫婦　美彦さん（左）　千穂さん（右）

もくじ

＊ がんばっている農業者　（西村正昭さん 伏見区竹田）・・・・・・ 1
＊ 委員会の掲示板　（選挙人名簿登載申請 ほか）・・・・・・・・・ 2
＊ 農業の６次産業化　（山国水・土・里の館 右京区京北）・・・・・ 3
＊ 農作業体験で農業の魅力を子供達へ　（伏見区向島）・・・・・・ 4
＊ お火焚き祭　（鷺森神社）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

農地のことは農業委員会へ！

所在地：京都市中京区寺町通御池下る下本能寺前町５２２ 本能寺文化会館２階
TEL:075（212）9050，　FAX:075（212）9084
京北窓口／所在地:京都市右京区京北周山町上寺田1−1 京北合同庁舎1階
TEL:075（852）1825，　FAX:075（852）1827
ホームページアドレス
http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/32-11-0-0-0-0-0-0-0-0.html

④ 京都市農業委員会　平成25年12月発行